

羊のくるぶしの骨 〈シャガエ〉 D0122

ウランバートル/モンゴル

モンゴル—草原のかおりをたのしむ

参照資料

『シャガイの遊び方』



ш а г а й

シャガエとは、ヒツジのくるぶしにある距骨のことで、煮込んで脂を出したらそのまま遊び道具となります。左右の後ろ足に一つずつあるので、一頭のヒツジから2つのシャガエがとれます。子ども達はこれをたくさん集めて遊んでいます。シャガエの4つの面には、それぞれラクダ、ウマ、ヒツジ、ヤギという名前が付けられており、面の形と家畜の名前をまず覚える必要があります。詳しい遊び方については、別冊『シャガイの遊び方』を参照。

〔参考文献〕 シャがぁ編集室 1998 『シャガイの遊び方』千里文化財団
野沢延行 1991 『モンゴルの馬と遊牧民—大草原の生活誌』原書房